



No.19

# 金力一心

令和3年11月12日

「夢を抱き、絆を大切にできる子どもを育もう～「よろこばせごっこ」で

都農町立都農小学校 TEL 0983-25-0049 FAX 0983-25-0273 文責；校長 三橋正洋

## 「命の日」～命は自分に与えられた時間

少し遅くなりましたが、10月に実施した「命の日」の取組の紹介です。今回は心臓の鼓動を確かめたり、大きさを理解したりと、理科の先生らしいお話でした。そして、命は自分が使える時間、だから精いっぱい生きること、というお話を聞いて、命の尊さをじっくり考える時間になりました。心で精いっぱい考えることのできた時間でした。

では、子どもたちの感想を紹介します。次回は11月19日です。

\*一部、文や文字の修正がある箇所があります。



- ・しんそうのことが少しわかりました。とても命が大切だと思いました。命を大切にします。【1年】
- ・しんそうは手のグーと同じ大きさと知りました。そしてドクッとなると体中に血液が流れることも知りました。だから自分の命は自分で守ります。【2年】
- ・今日のお話を聞いて、自分の命、友達の命、家族の命があるから、お話したり遊んだりできる。だから、命を大切にしたいです。【2年】
- ・先生の話で、命はしんそう。命は自分のもち時間で一度なくなってしまうともうもどらない。それだけ命はたいせつなもの。【3年】
- ・命は、自分が使える時間なんだと思い、しっかり今やることをやって、一分一秒を大切にしたいです。【4年】
- ・今の話を聞いて、心臓は手をグーにした時の大きさと初めて知りました。こんなに小さいのに、すごく大事な役をもっているんだと思いました。命は時間だという人もいるということで、その自分が使える時間を大切に精いっぱい元気に生きていきたいと思います。【5年】
- ・先生の話聞いて、命とは何かわかりました。今の時間を一秒でも大切に、人のため、自分のためになればいいなと思いました。【5年】
- ・人生は一度だけだから、その一度だけの人生をむだにしないよう、みんなと大切な思い出を過ごしたいです。そして他の人にやさしくしていきたいです。【6年】

- 1日(水)…全校集団下校、みやざき学習状況調査(5年；国語・算数)
- 2日(木)…人権集会
- 3日(金)…図書貸出終了
- 6日(月)…水曜校時程(～10日)

帰りの会終了；月水木が13:45、火金が14:05

- 13日(月)…心のアンケート

- 20日(月)…教育相談

- 24日(金)…2学期終了日、命の日、全校集団下校

\*冬季休業<12/25～1/5>



## 家庭教育学級～家庭でルールをつくろう

5日(金)は参観日でした。授業参観・学級懇談の日程でしたが、参観された保護者の方々のマナーがよく、安全・安心な時を過ごすことができました。子ども達もさほど緊張することもなく、日頃の生活の姿を伸び伸びと出すことができたようです。

さてその後、家庭教育学級生を対象に、「みやざき家庭教育サポートプログラム」を実施しました。今回は「家庭でのルールづくり～スマホ、ゲームの使い方や視聴時間について家庭でルールをつくる」をテーマに、町教委の先生がコーディネーターとなって、アイスブレイキングをしながら、楽しくためになる研修となりました。とてもためになる内容がありましたので、ここでその一部を紹介します。参考にしてください。



### ◇ 家庭でのルールづくりのポイントは？

- ・ ルールの中の「あいまいさ」を考える。
- ・ つくって終わりではなく、そのルールを守るための工夫を考える。
- ・ タイムマネジメントの力を身につける。

### ◇ 目指すところは？

- ・ 他律（自分の意志ではなく、他人の命令などによって行動する）から  
自律（常に、自分の意志で判断しながら、行動する）へ

### ◇ 自律を促す「タイムマネジメント」の力を引き出すためには？

- ① やるべきことを書きだす
- ② 「時間」を予想する
- ③ やることの順番を考える

※ ネットやゲームの利用時間を記録させ、友達と比較させる（使いすぎの「見える化」）

### ◆ 実際の親子での話し合い活動では…

「早寝・早起き・朝ごはんをできると、いいところは何ですか？」

⇒ いい気持ちになる。時間ができる。頭がすっきりする。勉強に集中できる…

など、具体的なメリットが出てきて、次への「やる気」につながっていました。



参加した方々の事後アンケートには…

- 子どもやお友だちと積極的にお話ができよかったです。実際にやってみようと思いました。
- 改めて子どもと家庭でのルールについて話し合うことができてよかったです。
- 早寝・早起き・朝ごはん、ゲームの使い方など考えるよい時間となりました。
- 子どもも参加型だったので、楽しく受けられました。

など、親子で一緒に話し合う場の大切さがあげられていました。なかなか親子で1つのテーマについて語り合う時間を生み出すことは難しいかもしれませんが、とても有効な手段だということを改めて感じる時間となりました。

今回、コーディネーターをしていただいた先生が、こう言われました。

「こうして親子で充実した研修をすることができたのは、参加した1年生が落ち着いてがんばってくれたからです。すばらしい1年生ですね。」

本当にそうだと思います。これも日頃の生活の積み上げがあるからですね。さすがは「おすずっ子」です！

「全カー心」カラー版は、都農小ホームページでご覧ください。